

火災をなくすために出来る事

末次 咲喜

私は少年消防委員として、火災の防止と予防の大切さを伝えていきたいと思っています。

火災は一度起きたら、大切な命や家、思い出の物まで奪ってしまふ、とても恐ろしいものです。ニュースで火事の様子を見るとき、胸が痛みますが、私の身近にも火災が起きました。それは、親戚の家が火事になった事です。夜中に火が出て、あという間に

家全体に燃え広がってしまいました。その火事で親戚の息子が命を落としました。まだ若かったのに、もっと未来があったのに、それが二度と戻りません。家族も深い悲しみで包まれ、私自身も胸が張り裂ける思いでした。その出来事は、火災がどれだけ残酷で、取り返しのない怖いものかという事を強く教えてくれました。

そんな残酷な火災を防ぐには、日頃の小心な心がけがとても大切です。例えば、

の火をつけたまま離れたいこと、ストーブの
近くには燃えやすい物を置かないこと、たばこ
の火を完全に消すこと、古くなつた電気コ
ットを点検することなどがあつた。ほんの少しの油
断が、大抵は火災へとつながつてしまひます。
小さな行動でかゝ一人一人が意識して取り組
むことで、火災を防ぐ力にはなると思ひます。
また、火災がおしよつてしまつた時のた
めには備える事も大切です。避難経路を確認し
ておいたり、消火器の使い方を覚えておいた
りすれば、いざという時に落ちついて命を守
る行動が出来ます。私は学校での避難訓練を
通して、普段から準備しておくことの大切
さを学ばされた。実際の火災ではパニックにな
りやすいと思うので、訓練で身につけておく
事が命を救うことにつながります。
私は、少年消防委員として、親戚の火事で
感じた悲しみを忘れず、火の恐れを同様の
人に伝えていきたいです。また、自分自身が
出来ることをやり、少しでも火事の無い安全

は場所にはれはれいはいと思えます。

二れからおは、火の怖さと子防の大切
を伝え子役割を果たし、火災による悲しみを
なくしていきなす。